



平成28年8月23日～9月5日まで、全国市町村国際文化研修所(JIAM)が主催する「これからの公共のあり方～国際比較の視点から～」の研修に、地域づくり課協働推進担当（サポートセンター）の小川主査が参加しました。国内研修(4日間)の後、海外研修(10日間)で、カリフォルニア州の3都市(サンフランシスコ、バークレー、サンノゼ)の自治体やNPO、大学等11箇所を、全国の自治体職員17名と共に訪問・視察しました。今回から3回にわたり、小川主査が印象的だったという訪問・視察先のレポートをお届けします！



アメリカ研修記

Vo.1

1回目は「低所得者への支援(住宅政策)」についてです。サンフランシスコ市の住宅担当部署とチャイナタウンを中心に活動しているコミュニティ組織(NPO)の2箇所を訪問・視察しました。

サンフランシスコ市は、太平洋岸を代表する経済拠点であり、ITや金融業等のサービス産業がけん引役となり、更なる発展を遂げ、それに伴う人口増加により、住宅需要が著しく高まり、家賃が非常に高騰し、従来からの住民が退去させられ、ホームレスが増加しているという課題があります。そのため、アフォードブル住宅(低所得者向けの住宅)の建設やコミュニティ開発について、市はNPOに資金を提供し、NPOが主体となって進めているという現状があります。

アメリカでは、政府(行政)よりも先に、様々な人種・民族の移民がコミュニティをつくり、その中で生まれる多種多様なニーズを満たし、課題を解決するために様々な団体をつくり住民自治のもと、活動してきたという歴史があり、コミュニティごとの地域差も大きいため、行政による公平な公共サービスの提供ではなく、多様な団体を信頼できるパートナーとしてとらえ、資金を提供し、実際のサービス提供をNPO等に委ねています。NPOが主導し、先に解決に乗り出し、政策提言し、その後、行政に委ねる「NPO主導型」というアメリカにおける課題解決への取り組み方の一つです。(小川)

市民活動フェスタ2016in松本-ぼくらの学校-

市民活動フェスタ2016 in 松本「ぼくらの学校」が9月24日、25日の2日間、あがたの森で開催されました。2日間の合計入場者数は約1600人！前日までの大雨が心配されましたが、当日は天候に恵まれ無事に開催することができました。平和・いのち、環境・エコ、インターナショナル、こども、ITなどのテーマごとに、講堂・本館・並木道にて日頃の活動を紹介しながら来場者と楽しみました。ありがとうございました。



活動支援

(プラチナサポーターズ松本)



エクセラン高校
環境科学コース・ミニエコ



(松本市聴覚障害者協会
& 手話サークル)



こども

(NPO 法人ワーカーズコープ)



(NPO 法人グループ HIYOKO)



松本一受けたい授業

(「新老人の会」信州支部)



(すまいるダンス)



インターナショナル

(公益財団法人オイスカ
長野県支部中信推進協議会)

ほっとくらぶ

住所：〒390-1401 松本市波田 10242-5
TEL：090-4009-2524
E-mail：hotma3hata@gmail.com

ほっとくらぶは、平成27年4月に発足。重症心身障がい児(者)の家族を含めた心身のケアを目的としたレスパイト(※1)サポートを企画、支援するためのコミュニティづくりを目的としている団体です。重い病気や障がいを持った子どもの療育や在宅医療ケアに関わっているご家族の多くは、家族で遊ぶことや外出をあきらめざるを得ない現実があるとのこと。今回お話を伺った代表の齊藤雅恵さんは「医療保険などの重症心身障がい児(者)や障がい者向けのサービスの遅れを懸念している。」とお話くださり、本人とご家族がゆっくりと過ごす、そんなレスパイトができればと有志を募り、“筑北ファン倶楽部”や“NPO 法人親子はねやすめ”との共同で現在活動しています。団体名称は「ほっとできるひと時、ほっと寛げる、ホットな人との出会い」が由来しており、本人とその家族とが、医療関係者、福祉関係者、一般市民と一緒に

(※1)レスパイト…一休み、小休止、息抜きなどの意味。

NPO法人 SOHO未来塾

住所：松本市本庄 1-4-10KOMATSU マンション 1階
TEL：0263-88-2901
HP：http://www.sohomiraijuku.jp/

SOHO(ソーホー)という言葉をご存じでしょうか？SOHOとは Small Office Home Office の略で、自宅や小規模オフィスを仕事場とする就労スタイルを意味します。

SOHO 未来塾は、外出が困難な重度障がい者が一番生活環境が整っている自宅にてICT(※2)を活用し「個人の能力に合った仕事」「個人の生活環境に合わせた働き方」に視点を置いた新しい労働形態を創り上げる事を目的とし、平成15年に障がい当事者が中心となり設立。「在宅就労者自身が自己啓発をしながら、最終的には“納税者”になれるよう、夢とチャレンジ精神を持って取り組んでいます。」と、理事長の青木敏さん。SOHO 未来塾の特徴は活動エリア。施設近隣だけではなく、長野県全域を対象にしており、平成17年以降、在京IT系企業からウェブサイトのチェック業務などを受託し、在宅就労。直接雇用に至ったケースも多々あるそうです。

(※2)ICT…情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称。

(※3)テレワーク…情報通信機器等を活用し時間や場所の制約を受けずに、働くことができる勤務形態のこと。



*キャンプの昼食時に竹巻パンを焼いている様子

にそれぞれの特技を生かして、協力し合い、みんなで楽しみたいという思いが、活動の基軸をなしており、参加者からも「また参加したい」「また会いましょう」と次回を楽しみにしている声をいただいているとのこと。

現在、ほっとくらぶでは、ボランティアスタッフを募集しています。医療、福祉関係者以外にもアウトドアや料理、子どもと遊ぶのが大好きという方も募集中。

最後に齊藤さんに団体への思いをお伺いした所、「細く長く続けて行きたい。限られた人数での開催であっても、長く続けていくことで多くの出会いがあり、輪が広がっていく可能性がある。そして、いつか自分たちの築き上げてきたベースが引き継がれれば嬉しい。」とおっしゃっていました。設立から間もなく、多くの仲間達と活動するほっとくらぶ。今後の活動にも注目です。(海口)



*パソコンに向かい作業している様子

現在、青木さんは働き方も変えたいとテレワーク(※3)の導入を積極的に進めているとのこと。「ストレス障がいによる長期休職者や結婚・妊娠・子育て、介護による退職は働き方の選択肢が少ない。働きたくても働く事が出来ない方の中にはバイタリティに溢れている方も多く、テレワーク導入は現代社会にとって大変有意義である。」と語って下さいました。11月から12月にかけて、視覚障がい者と一般障がい者向けのiPad・iPhoneを利用したタブレット講習会が、長野・佐久・飯田・諏訪・松本市にて行われます。音声操作等、基本の操作から体験して頂けるそうです。詳細、お問い合わせはSOHO 未来塾まで。青木さんの「納税者になる事も喜び」という言葉がとても印象的でした。(笠松)

支える人たち

～学校法人松本昭和学園工クセラ高等学校
福祉科 ボランティア部～
桐木 智穂先生 & 生徒の皆さん



福祉科の生徒の皆さん

市民活動フェスタで2日間ボランティアとして協力していただいた先生、生徒の皆さんの授業を拝見しながら、部活動、学校生活について伺いました。

一高校に福祉科があるのはめずらしいですね。

県内では3校だけですが、全国的には増えてきています。3年間の授業で介護福祉士の国家資格を取得する事が目標です。

この3年間は生徒達にとって、本当に忙しく、9教科の科目の勉強はもちろん、介護福祉士の資格取得の専門知識の勉強、実習も同時進行で行われ、充実したカリキュラムが組まれています。福祉科創設から16年が経ちますが、様々な地域活動のボランティアを行っています。

一フェスタのお手伝いに参加してみた感想は？

つむぎちゃんの着ぐるみを着ました。初めての経験でしたが、楽しかったです。子ども達や大勢の方でにぎわって良かったです。(古畑さん)

アルプちゃんに入りました。時間ごとにいろんなブースに携わり、それぞれの持ち場について、仲間同士の情報交換ができました。これまでのボランティアと違い、初めての経験も多く、新鮮で貴重な体験でした。(山田さん)

取材の日、生徒の皆さんは実技試験があり、ペアを組み、歩行介助をしながら洗面所へお連れするという実践的な課題の練習に取り組んでいる最中でした。また試験後は、東京の福祉施設で研修を受けた内容についてのレポートを完成させなければならないとのこと。とにかく忙しい皆さんでした。試験の前で緊張感が漂う中、取材に協力していただき、心からお礼申しあげます。福祉科での3年間は、休日返上で目標に向かって真摯に取り組むと伺いました。一つ一つの課題をこなし、目の前のやるべき事に集中している姿がとても清々しかったです。将来が楽しみな生徒の皆さん、これからも切磋琢磨して困難を乗り越え、立派な介護福祉士さんになって欲しいです。(インタビュー：塚原)

授業の一環で、休日も様々なボランティアに参加させていただいています。様々な現場に出向く事で、生徒の日常生活にも生かせることが沢山あると感じ、この活動も大切にしています。(桐木先生)

一皆さん礼儀正しく勤勉な印象を受けました。

いろんな活動が糧となって、何か自然に手助けできる、そのような人材が育っているのではないかと感じています。また身体の成長と共に確実に生徒たちの心が育っています。

一他にはどんなボランティアをしているのですか？

市民活動フェスタの日は、他の施設でもお祭りがあり、そのお手伝いに行った生徒もいました。普段は、福祉施設での介助補助や募金活動などにも参加しています。

生徒達が、ボランティアを通して人とのつながりを肌で感じ、それぞれの個性を生かしながら社会貢献ができるような選択肢が沢山増えることを期待しています。

サポートセンター職員の素顔を

リレー方式で紹介!!

サポセン
スタッフ日記
山崎

市民活動サポートセンターの山崎みゆきです。窓口業務の他に、プラチナサポーターズ松本の事務局と東日本大震災で松本に来られた方を支援するために養成した、託児ボランティアのコーディネートを担当しています。

プラチナサポーターズと参加者が講師となり多種多様な講座で活躍しているプラチナサロンは、毎回30名前後の方が参加しており、私もプラチナ世代の知恵や知識の豊富さ、輝いている姿に、驚きながらもパワーをいただいています。また、託児ボランティアの皆さんにあっては、毎月の依頼に「託児の時間はとても楽しいのよ」と快く引き

受けていただき、本当に感謝しています。

ゆとりのできた時間を地域や社会のために費やしているプラチナ世代の方々に接することで多くを学び、これからの私の道しるべを頂いているようでありがたいです。



(写真：一番左が本人)

■ イベント情報

□ イベント情報

「市民と共に歩む子どもの居場所づくりシンポジウム in 松本」展示やパネルディスカッション、フードライブコーナーもあります!

日時：11月20日(日)
13:30~16:30

場所：松本駅前会館 大会議室

参加料：無料

問合せ：0263-39-7444

※平日9:00~18:00のみ
(NPO法人ワークスコープ松本事業所まで)

□ イベント情報

「まつよう太鼓 JOY7周年記念演奏会」今までの成果を多くの方に見ていただくとう今回の記念演奏会を企画しました。当日は福祉施設の販売ブースコーナーも併設します!

日時：11月23日(水・祝)

13:00~15:00 (12:30開場)

場所：キッセイ文化ホール・中ホール

問合せ：0263-57-1011

(まつよう太鼓 JOY7周年記念演奏会実行委員会/担当:宇原さんまで)

□ イベント情報

H28年11月 塩尻市主催「ばそこん基礎講座」イラスト入り年賀状を作ってみませんか?

日時：11月21日(月)・22日(火)
10:00~12:00

場所：塩尻市民交流センターえんば
ーく 2F ICTルーム

参加料：1000円(受講料・テキスト代)

※有料託児あり。要事前相談。

問合せ：pchiyoko@ghiyoko.net
(NPO法人グループHIYOKOまで)

□ イベント情報

「伴走・伴歩体験会@松本」伴に走り、伴に歩む。体験練習会に参加してみませんか?

日時：11月27日(日)
9:00~11:00

場所：松本盲学校

参加費：無料

持ち物：動きやすい服装・靴(上履き)、防寒着や帽子、飲料、着替え等

問合せ：alpine.otani@gmail.com
(信州伴走伴歩協会ガイディングスター/大谷さんまで)

地域発 元気づくり支援金!

29年度分の説明会日時が決定!
ぜひ活用をご検討ください。

地域発 元気づくり支援金とは…

長野県が各地域、また県全域で重点的に推進するテーマ等を設定し、地域の元気を県全体の元気につなげようと、地域づくりを実践している市町村や団体等に支援金を交付しています。毎年1月から約1か月間、対象事業を募集します。

交付対象者

・市町村、広域連合、一部事務組合、公共的団体等

交付対象事業

・自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業、また県全域での重点的な推進テーマの事業
※具体的な交付対象事業、対象外事業については県HPにて「地域発元気づくり支援金」の概要をご参照ください。

平成28年度の場合 ※29年度は変更の可能性あり
交付額の補助率(補助額下限30万円)

(1)ハード事業(公共的団体の場合)

・補助率：2/3以内
・重点的テーマ該当補助率：2/3以内

(2)ソフト事業(公共的団体の場合)

・補助率：3/4以内
・重点的テーマ該当補助率：4/5以内
※ハード事業とは、道路・水道・建物等の建設又は改修、1件10万円以上の備品の取得等。ソフト事業とは、ハード事業以外のこと。

募集に先立ち
県が説明会を開催します!

日時：12月16日(金)

13時30分~15時30分

場所：松本合同庁舎 2階講堂
(松本市島立1020)

詳細は、県HPをご参照の上…

長野県企画振興部地域振興課

電話番号：026-235-7021 まで

■ サポートセンターより

プラチナサロン

日時：12月8日(木) 10:00~15:00

午前の部 絵手紙・スケッチ

午後の部 ふれあいサロンへ参加

会場：市民活動サポートセンター

対象：おおむね55歳以上

参加費：300円(お茶代)

ふれあいサロン

日時：12月8日(木) 10:30~14:00

10:30~13:00 障がい者施設による販売会

13:00~14:00 生演奏での合唱

会場：市民活動サポートセンター

対象：どなたでも

参加費：無料

“地産地消”を“地産地生”に!

地産地消。インターネットで調べたら、地域で生産された様々な生産物や資源(主に農産物や水産物)をその地域で消費することと掲載されていました。では、その土地ならではの活動を産み、その地域の為に活動を生かす。そんな「地産地生」って言葉があっても良いのでは?と思いました。実はこれ、市民活動の考え方に近いのではないのでしょうか?ちょっと柔軟な思考で、多くの目線や多くの物差しで市民活動を考えてみれば、とてもオリジナリティが高く、まだこの世に存在しないような商品やサービスを産みだすことができるかもしれません。なんだが、ワクワクしませんか?(笠松)

編集後記

冬到来!私は自宅のストーブで焼き芋三味の幸せな日々を過ごしています。さて、1月に「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会」が開かれ、パネルディスカッションや地域づくりに関する11の分科会が行われます。参加申込期限が12月16日(金)となっていますので興味のある方はぜひご参加ください。詳しくは「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会松本大会事務局」(中央公民館Mウイング内)0263-32-1132まで。(坪根)

